



Apple Watch Series 2ディスプレイの開口部

修理を目的としたディスプレイの分解ガイド (必須条件のみ記載)

作成者: Tobias Isakeit



はじめに

修理を目的としたディスプレイの分解ガイド (必須条件のみ記載)



ツール:

- [iOpener](#) (1)
- [Curved Razor Blade](#) (1)
- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)



部品:

- [Apple Watch \(42 mm\) 接着ストリップ](#) (1)
- [Apple Watch \(38 mm\) 接着ストリップ](#) (1)

手順 1 — Apple Watchの電源を切る



- 作業の前にApple Watchの電源を切り、充電器から取り外してください。
- ① タッチスクリーンが破損し、電源を切れない場合は、[ここに示されている方法で](#)電源を切ってください。

手順 2 — 熱を当てます



- [iOpenerを使って](#)、(もしくはヘアドライヤーかヒートガン)ディスプレイを温めます。触ると熱い程度まで温めてください。
- iOpenerを少なくとも1分は載せて、スクリーンを十分に温めて、ケースに沿って留められた接着剤を柔らかくします。

- iOpenerを再度温めるか、接着剤が冷却されないように、スクリーン周辺に動かしながら温め続けてください。

手順 3 — あらゆる危険性に備えます



- ⓘ スクリーンとWatch本体の間の隙間は非常に狭いため、鋭利なブレードを使ってこの二つを乖離させなければなりません。作業を始める前に、次の注意書きをよく読んでください。
- ⚠ 作業中、ナイフから完全に指を離して指先を保護してください。不安な方は、ナイフを持っていない側の手をレザーグローブやガーデニング用グローブを着用してください。
- ⚠ 強いプレッシャーを本体に与えないようにご注意ください。ナイフがスリップしてしまい、怪我をしたりWatchにダメージを与えてしまうことになります。
- ⚠ **保護メガネ**を着用してください。ナイフもしくはガラスが割れてしまうと、破片が飛び散ることがあります。
- ⓘ Watch用ハンドの有無によってコントロール加減が変わる場合は、作業がやりやすい様に着用する、もしくは外してください。

手順 4 — スクリーンをこじ開けます



- カーブしたブレードをディスプレイとアウターケースの間の隙間の中に当てます。デジタルクラウンに一番近いディスプレイの短いサイドから初めます。
 - 隙間に向けてまっすぐ、しっかりと押し込みます。
 - 差し込んだら、ブレードの角度を傾けてディスプレイをわずかに開く様にこじ開けます。
- ⚠ ナイフ先端を2 mm以上、挿入しないでください。

手順 5



- カーブした刃によって、小さな隙間ができたなら、ナイフから開口ツールに持ち替えて、細い先端を隙間に挿入します。
- 親指をコテにして、ディスプレイを少し持ち上げて開き、隙間に開口ツールを押し込みます。

 ディスプレイを完全に開いたり、外したりしないでください。

手順 6



- 開口ピックをディスプレイの下に挿入し、Force Touchガスケットをディスプレイから慎重に取り外します。
- ① 交換用Force Touchガスケットを含む、iFixitスクリーンとバッテリー用修理キットを販売しています。あなたのWatchに修理が必要でも大丈夫です。
- ⚠️ もしくは、Force Touchガスケットを保存して再利用する場合は、ディスプレイ端の下を慎重にこじ開けてください。ディスプレイを持ち上げた際に、Force Touchガスケットが切断したり、ガスケットのレイヤーから外れてしまった時は、Force Touchガスケット自体も交換しなければなりません。
- 開口ピックをディスプレイ周辺にスライドして、Force Touchガスケットとディスプレイ間に付けられた接着剤をはがします。
- ⚠️ 開口ピックを2 mm以上、差し込まないでください。

手順 7



 ディ스플레이ケーブルを引っ張らないようにするには、ディスプレイを完全に開かないことです。

- ディ스플레이を約45度の角度で開き、ピンセットを使ってディスプレイとForce Touchガasketの間の接着剤を慎重に剥がします。
- ディ스플레이ケーブル周辺と裏に貼られた接着剤を綺麗に剥がします。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。